

博士論文発表会日程一覧

※発表会日程順

論文発表会日時・場所			専攻	発表者氏名	論文テーマ
12月13日	11:00-12:00	大学美術館B2F 展示室1	工芸(ガラス造形)	多田えり佳	時を編む:有線七宝とパート・ド・ヴェールの融合
12月13日	13:00-14:00	大学美術館B2F 展示室1	工芸(漆芸)	林 大永	現代的生活空間と漆の造形性 —新たな変わり塗り技法による韓国伝統美の新解釈—
12月13日	13:00-14:00	大学美術館2F テラス	先端芸術表現	姜 宇英	地域系アートプロジェクトとアーティスト—外なるアーティスト—
12月13日	14:00-15:00	大学美術館B2F 展示室1	工芸(陶芸)	朴 宥貞	粉青沙器の現代化に関する表現研究 —自然と日常の出会いを主題にした民画的表現—
12月13日	15:00-16:00	大学美術館B2F 展示室1	工芸(陶芸)	金 東昱	装飾と器—自然の形式化—
12月13日	17:00-18:00	中央棟・第3講義室	芸術学 (日本・東洋美術史)	本田 光子	俵屋宗達研究—屏風作品を中心に—
12月14日	10:00-11:00	大学美術館3 F	油 画	山口 功	分解と拡散—現代社会の記号化・象徴化—
12月14日	12:00-13:00	大学美術館3 F	油画(版画)	裴 瑩	変容する風景
12月14日	13:00-14:00	大学美術館3 F	油画(壁画)	西ノ宮佳代	蓬萊郷—モザイクによるインスタレーションの試み—
12月14日	14:00-15:00	絵画棟1F Art Space 1	油 画	奥村 雄樹	身体の実在性がもたらす超次元的経験の諸相について —「うつる」という概念を手がかりに
12月14日	15:00-16:00	大学美術館3 F	油 画 (油画技法・材料)	高倉 吉規	思念寄生—抑圧から生まれた情動—
12月15日	10:00-10:30	大学美術館B2F 展示室2	文化財保存学 (保存修復・日本画)	古賀 海人	京都・松尾寺所蔵 国宝「普賢延命菩薩像」における表現技法に関する研究—銀を中心とした截金技法について—
12月15日	10:00-11:00	中央棟・第3講義室	芸術学(美学)	孟 海霞	近代詩の美意識—日中近代詩に即しての考察—
12月15日	10:40-11:10	大学美術館B2F 展示室2	文化財保存学 (保存修復・日本画)	彭 偉新	宋代山水における「青緑彩色」表現の彩色技法研究 —国立故宫博物院所蔵 北宋 李唐「萬壑松風図」の想定復元模写を中心に—
12月15日	11:20-11:50	大学美術館B2F 展示室2	文化財保存学 (保存修復・日本画)	武田 裕子	有志八幡講十八箇院所蔵 国宝『阿弥陀聖衆來迎図』の彩色技法に関する研究—本尊における「金色身」表現を中心として—
12月15日	11:30-12:30	中央棟・第3講義室	芸術学 (美術解剖学)	戸坂明日香	日本人女性の三次元復顔法 —寛永寺谷中徳川霊園墓所出土・大奥女性の復顔—
12月15日	12:00-12:30	大学美術館B2F 展示室2	文化財保存学 (保存修復・日本画)	京都 絵美	東京国立博物館所蔵国宝『孔雀明王像』の原図像の復元に関する研究
12月15日	13:00-14:00	大学美術館B2F 展示室1	工芸(彫金)	高橋 正樹	—KIZUNA 絆 JEWELRY— 木目金ジュエリーによる装飾表現の可能性
12月15日	13:00-14:00	大学美術館3 F	日本画	大竹 彩奈	生の証—恐怖と毒々しさ—
12月15日	14:00-15:00	大学美術館3 F	日本画	三田 尚弘	共感とメタファー—自然の神格化—
12月16日	10:00-10:40	中央棟・第3講義室 (保存油画3名)	文化財保存学 (保存修復・油画)	大久保伊織	洋画家高島野十郎の油彩画における絵画技法及び劣化予防措置
12月16日	10:00-11:00	大学美術館3 F	油 画 (油画技法・材料)	カール ランゲル	東京ポर्टレート—コミュニティと孤独の表現—
12月16日	10:50-11:30	中央棟・第3講義室 (保存油画3名)	文化財保存学 (保存修復・油画)	杉原 朱美	国沢新九郎の油画技法に関する研究 —我が国の油画黎明期に果たした役割—
12月16日	11:40-12:20	中央棟・第3講義室 (保存油画3名)	文化財保存学 (保存修復・油画)	富山 恵介	テンペラ絵具の表面形状と特性の分析 —非破壊分析によるテンペラ絵具の同定—
12月16日	13:00-14:00	大学美術館3 F	油 画 (油画技法・材料)	高井 史子	青と無常
12月16日	15:00-16:00	大学美術館3 F	油 画	友政麻理子	「やまびこ」—遙か遠く離れたもの同士が交信を図る行為とその可能性について—
12月20日	10:00-11:00	中央棟・第3講義室	芸術学(美術教育)	村上 紀子	身体化される描画の個人性 —描画活動の人間形成的意義を考えるために—
12月20日	13:00-14:00	大学美術館B2F 展示室1	工芸(鑄金)	小椋 聡子	儂く移りゆく日常の断片的風景
12月20日	14:00-15:00	大学美術館B2F 展示室2	文化財保存学 (保存修復・彫刻)	黒柳 奈未子	彩色が彫刻に与える影響について —高野山金剛峯寺不動堂 八大童子像のうち矜羯羅童子立像の想定復元模刻制作を通して—
12月20日	15:00-16:00	大学美術館3 F テラス	デザイン	サレム カーラネ	空間における頓絶法—沈黙のデザイン的解釈—
12月20日	15:30-16:30	大学美術館2 F テラス	彫 刻	木本 諒	フィギュアの彫刻化
12月20日	18:00-19:00	中央棟・第3講義室	芸術学 (西洋美術史)	深田麻里亜	ヴィットラ・マダマのロジヤ装飾
12月21日	16:30-17:30	中央棟・第5講義室	建築理論	野村 正晴	日本近代における事務所建築と都市開発手法に関する研究 —三菱財閥の丸ノ内地区開発を中心として—